

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年 2月 4日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 3 件

| NO. | 号機等 | 不適合件名 | グレード | 発見日 |
|-----|-----|--|------|-------|
| 1 | 1号機 | 第3回定期事業者検査プロセス放射線モニタリング設備機能確認検査(その1)の検査記録において、「排気筒放射線モニタ(SCIN:シンチレーション検出器)A」の検査成績書結果に計算式の誤り(小数点第三位で四捨五入するところ、小数点第三位までの値で計算)が認められたため、検査成績書の訂正を実施。 また、正しい計算結果においても判定結果は「良」であり、再検査は不要であることを確認した。 なお、本件は品質に影響を与えないと判断されたことから、不適合グレードを「対象外」として扱う。 | 対象外 | 1月31日 |
| 2 | 3号機 | 補機冷却海水系(補機冷却海水ポンプ出口配管)において、配管内ライニング(被覆)に3箇所の剥離が認められたため、当該ライニングを点検・修理。 なお、当該配管母材まで貫通する剥離ではない。 | GIII | 2月3日 |
| 3 | その他 | 振動診断に使用している振動計(1台)において、振動計の電源を入れた際、動作不良(エラーメッセージが表示され、センサーから応答信号が検出されない)が認められたため、当該機器を点検・修理。 なお、振動診断に必要な振動計台数は確保できているため、状態監視保全業務に影響はない。 | GIII | 1月31日 |